

あきた

エコマイスター NEWS



あきた エコマイスター 活動紹介特集

● 環境講演会

大館鹿角支部では、環境講演会を2回開催しました。

1回目の環境講演会(6月12日(日))は、今年4月から始まった電力自由化の仕組み等について、東北電力の方をお招きして行いました(参加者は会員12名を含む15名)。電力自由化は、東日本大震災の際の計画停電などの課題を受け、「安定供給」と「選択肢の自由」を目的として進められたとのことでした。東北電力は、安定供給を第一に取り組んでいることなどの説明がありました。

9月4日(日)に開催した2回目の講演会では、平成26年度に秋田県環境大賞を受賞された秋北バスによる「バス&ウォーク事業」について話を聞きました(参加者は、会員9名を含む12名)。

「バス&ウォーク事業」は、行きはバス停間を歩くことによりダイエット効果を図り、帰りは路線バスに乗車して自家用車を使用することによるCO₂を削減する取組とのこと、大変有効な取組と感じました。マイカー時代の到来以降、乗車率の減少傾向が続いており、バス事業においても多様性を求められ、地域のコミュニティバスとしての使

命、バイオ燃料の活用、健康への意識啓発としての様々な取組を行っていることを知ることが出来ました。また、高齢社会を迎えている現状ですので、過疎地の移動弱者へのバスの重要性を感じた講演会でした。

あきたエコマイスター県北協議会



● 伊勢堂岱遺跡で研修会

北秋田支部では、8月24日(水)に北秋田市の伊勢堂岱遺跡において研修会を開催しました(参加者は会員9名を含む11名)。

当日は真っ青な空の下で、会員であり、遺跡の案内人でもある清水清治氏の明快で丁寧なガイドのもと資料館の説明を受け、昼食の後は遺跡巡りを行いました。参加者の中には、新聞を見て参加した

という東京の方もおりました。資料館では、板状埴輪や遮光土偶などの展示に参加者は魅せられていました。板状埴輪は、海外の展示にも出展されたとのことでした。環状列石は200年以上かけて作られ、環状列石が4つもあり、規模の大きさや、永遠を願って完成させていないとの説明に驚かされました。時代を超えた悠久のロマンに浸ったひと時でした。

あきたエコマイスター県北協議会



● 第8回子どもエコ学習～ぼくとわたしの夏の工作宝物づくり～

7月30日(日)に秋田県生涯学習センター地下1階 展示場ホールにおいて開催しました(参加者66名)。

建築端材や海の流木、森の木の実などの自然物を使って、小学生を対象に自然の大切さと環境保護を学んでもらうため、あきたエコマイスター県央協議会の主催で行っており、今年で8回目の開催となりました。

エコマイスター会員を講師として身近な環境問題について質問形式で座学を行なった後、会員の指導のもと工作に移りました。奇妙な形の流木を

手に、想像の翼を思いっきり広げ、どんぐりや桜の小枝が様々な形に変わっていきました。親子が一緒になって作り上げていく時間は、あっという間に過ぎていき、夏休みの思い出づくりになりました。

参加者の後日談として、「帰省していた孫の大作を祖父が大切に宅急便で送った」「秋田市教育委員会の夏休み課題発表会に工作を出展し、受賞した」「来年の工作で使用する材料収集を兼ねて親子で自然観察会に参加した」などの声をいただきました。夏の工作を通して環境問題をとともに学んでいこうとする主催者側の継続の力となりました。

あきたエコマイスター県央協議会 (工藤 仁)



● 第16回あきたエコ&リサイクルフェスティバル

9月3日(土)～4日(日)に秋田駅前アゴラ広場&買物広場大屋根下において開催された第16回あきたエコ&リサイクルフェスティバルに参加しました。

秋田県民に「あきたエコマイスター」の活動を紹介することにより認知度を高め、当団体主催のイベント等への参加のためやエコ体験を通じて環境保全や海のゴミ問題、地球温暖化対策に関心を持ってもらい、環境問題を楽しく学びながら自ら実

践する気持ちを育むことを目的とし出展しました。

今年は、「海からのSOS!」というタイトルで、海のゴミ問題を取りあげ、来場者に地球環境を良くするための『環境メッセージ』を八郎潟で刈り取ったヨシペンでスケッチブックに記入してもらい、記念撮影をして写真をプレゼントしました。

多くの『環境メッセージ』はブースの壁に展示し、フェスティバルを盛り上げました。

あきたエコマイスター県央協議会



● 自然観察会・施設見学会

7月23日(土)、姫神公園(大曲)において自然観察会を行いました。

当日は、天気にも恵まれ、美しい雰囲気の中で快適な時間を過ごすことができました。これまでで最多の33名(会員10名、会員以外23名)に参加いただいたことも嬉しい出来事のひとつでした。

自然観察会では、自然観察指導員の渡辺淳次郎さんと阿部洋子さんから豊富な植物の知識についてわかりやすい説明をしていただき、多くの参加者が感謝していました。

自然観察会ののち、レストハウスで昼食を兼ねた交流会を開催しました。

参加者の声として

- ・環境について色々知ることができた。
- ・この地区は、植物の数が多い。春夏秋で様子が違う。
- ・すばらしい環境の中で散策出来て良かった。などが寄せられました。

午後からは、300年以上の歴史がある中仙町の酒蔵「秀よし」を施設見学会の会場としました。特別な雰囲気の中、案内の方から作業の内容や深い歴史等について丁寧な説明をしていただき、感激したひとときでした。歴史のある建物を見てみると、風格を感じるとともに、限りある資源を大切にす環境にやさしい暮らしの実践を目の当たりにしたような気がしました。

あきたエコマイスター県南協議会



お知らせ

地球温暖化に関するセミナー「キリバス共和国～地球温暖化最前線国～」



中央太平洋にあるキリバス共和国をご存知でしょうか。キリバス共和国も、海面上昇により国が存亡の危機にあります。このキリバス共和国名誉領事であるケンタロ・オノ氏(宮城県仙台市出身)から直接キリバス共和国と日本のかかわりや海面浸食の現状についてお話を伺える貴重な機会です。

日時	平成28年 11月19日(土) 13:30～16:00(受付13:00～)	定員	100名 ※申込は定員になり次第締め切りとさせていただきます
場所	遊学舎 会議棟	参加費	無料
		申込期限	11月17日(木)

申込み・問合せ先

NPO法人 環境あきた県民フォーラム

TEL&FAX:018-839-8309

編集:NPO法人環境あきた県民フォーラム

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎内

TEL 018-839-8309 FAX 018-839-8309

発行:秋田県生活環境部温暖化対策課

〒010-8570 秋田市山王4丁目1-1

TEL 018-860-1560 FAX 018-860-3881



未来の
ために、
いま選ぼう。